

# 富山県 身障者だより

発行所  
一般社団法人  
富山県身体障害者福祉協会  
富山市安住町5-21  
サンシップとやま3F  
電話 (076) 432-6331  
発行 令和5年1月20日

第149号

## 第35回 富山県身体障害者福祉大会開催

令和4年12月3日(土)、富山県身体障害者福祉協会の第35回富山県身体障害者福祉大会を高岡市ふれあい福祉センターホールにおいて、コロナ禍の中、感染防止対策を行ないながら、ご来賓をはじめ総勢150名が参加して盛大に開催されました。

冒頭、主催者である一般社団法人 富山県身体障害者福祉協会「布尾英二」会長より挨拶があり、未だコロナ禍が収束を見ない中ではありますが、コロナ感染対策を行い、第35回富山県身体障害者福祉大会を開催しましたところ、県内各地から多くの会員の皆様にお集まりいただき、誠に有難うございます。

また、新田富山県知事(代理) 富山県厚生部こども家庭支援監 五十里 栄 様をはじめ多数のご来賓をお迎えし開催できますことは、大変喜ばしく深く御礼申し上げます。

そして本日、表彰を受けられます皆様には、多年に亘り本会の発展にご尽力いただき感謝申し上げます。

さて、私たち障害者を取り巻く状況は、国では平成23年に障害者虐待防止法や平成25年に障害者差別解消法などの法整備がなされ、富山県においてもそれに伴う条例が制定されています。

しかしながら、障害者と言えども非常に多岐に亘っており大変難しいのが現状となっています。バリアフリー法の施行と福祉サービスの充実など、国や県・市町村の行政当局に取り組んでいただいております。

今後、私たちの課題は、いわゆる弱者への災害時の福祉避難所の確立や「差別・合理的配慮」の理解・「ヘルプマーク」・「ゆずりあいパーキング」の周知などまだ不十分な状況かと思えます。

コロナとの共存を見据えて皆様と共にSDGsや「地域共生社会」に向けての活動に取り組んでいきたいと思えます。と述べられました。



第35回富山県身体障害者福祉大会  
(高岡市ふれあい福祉センターホールにて)

# 第35回 富山県身体障害者福祉大会表彰

令和4年度 第35回富山県身体障害者福祉大会で、地域において長年に亘り障害者福祉向上のため、ご尽力いただいている方々に会長より功労者表彰状が授与された方々をご紹介します。

## ☆功労者表彰状受賞の方々

富山市	ひら	い	ひとし	様	高岡市	きた	やす	こ	様
	平	井	準			北	泰	子	
富山市	で	ぐち	こ	様	射水市	くろ	だ	さち	こ
	出	口	ゆり			黒	田	幸	子
富山市	たけ	もり	ふみ	え	氷見市	く	ぼ	たけ	お
	竹	森	文	枝		久	保	武	雄
高岡市	ふか	まつ	いさお	様	小矢部市	やま	もと	ひで	お
	深	松	勲			山	本	秀	夫



## ☆受章者代表謝辞

◆ 今回8名の受章者を代表して、高岡市の深松 勲様より表彰に対する謝辞がありました。



## ご来賓の方々紹介

○富山県知事	にっ	た	はち	ろう	様	代理	富山県厚生部	こども家庭支援監	いかり	さかえ	様
	新	田	八	朗					五十里	栄	
○富山県議会議長	わた	なべ	もり	と	様						
	渡	辺	守	人							
○高岡市長	かく	だ	ゆう	き	様						
	角	田	悠	紀							
○高岡市議会議長	さか	ばやし	なが	よし	様						
	坂	林	永	喜							
○高岡市社会福祉協議会会長			お	ぎ	のり	こ					
			尾	崎	憲	子					
○富山県視覚障害者協会会長			と	ぞえ	せい	じ					
			塘	添	誠	次					
○富山県聴覚障害者協会理事長	いし	くら	よし	のり	様	代理	理事	く	ぼ	まこと	様
	石	倉	善	則				久	保	誠	

## 令和4年度 国に対する要望事項概要

富山県身体障害者福祉協会では、中部ブロック加盟協会（1市6県）を通じて身体障害者の処遇改善のため毎年身体障害者に係る諸課題について、要望事項をまとめ日身連に提出し、日身連より国に提出しています。今年度は、以下の内容について提出しました。

1. 障害者の社会参加の促進を図るため、JRを利用する障害者の割引制度及び有料道路の割引要件を拡充していただきたい。 (継続) 愛知県
2. 障害者団体に認められている「第三種郵便物」の承認条件を緩和していただきたい。 (継続) 愛知県
3. 障害者の入所施設待機者の実態調査を実地し、それぞれが安心して臨む暮らしができるよう必要な対策を検討していただきたい。 三重県
4. 医療費の負担軽減措置を拡充し、負担軽減を図るとともに、自治体間の格差を是正していただきたい。また、難病患者についても、応能負担による自己負担限度額を見直し、負担の軽減を図っていただきたい。 三重県
5. 全国的に鉄道駅の無人化やみどりの窓口の廃止が進んでおり、視覚・聴覚等の障害者が安全かつ円滑に駅の利用ができるよう、国が中心となって全国の実態把握や先行事例を踏まえ、支援・指導をお願いします。 (継続) 福井県 (昨年石川県より)
6. 近年、養護者による障害者等の虐待事例が多く報じられており、養護者に対して徹底した対策と周知をしていただきたい。 富山県
7. 公共事業等の実施については、設計・施工段階から障害者の意見を反映したものにしたい。 (継続) 富山県
8. 地方公共団体が講じる障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策について、これを推進していくため財政的な支援や指導助言をしていただきたい。 石川県
9. 介護保険を含む高齢者の様々なサービスにおいて、障害に配慮した対応がされていないことが見受けられるため、事業者等にも合理的配慮を徹底していただきたい。 名古屋市

## 令和4年度 富山県に対する要望事項と回答

富山県身体障害者福祉協会では、身体障害者の処遇改善のため毎年富山県知事宛に身体障害者に係る諸課題について、要望事項をまとめた要望書を県に提出しています。

今年度は、以下のとおり提出し、県からの回答を受けました。



### 回答及び意見交換

○日時 令和4年11月8日(火) 11:00～11:30

○場所 県庁 厚生部長室

○出席者 【富山県厚生部】

- ・有賀厚生部長
- ・五十里こども家庭支援艦(厚生部次長)
- ・杉田障害福祉課長 ・宝達管理係長

【富山県身体障害者福祉協会】

- ・布尾会長 ・山下副会長 ・池田副会長 ・西野事務局長

1. 現在、全国的に災害が多発しています。地震・豪雨・洪水・地すべりなどの大規模災害がいつどこで起こってもおかしくない状況です。

県の総合防災訓練では、障害者理解啓発室を設けたりしていますが、もう一步進めて要支援者名簿に基づき個別避難計画を作成し、一般避難所から要支援者が福祉避難所へ移動する非難計画を作成して、障害者本人が参加する訓練を実施していただきたい。

回答：避難行動要支援者の個別避難計画については、県では市町村担当者説明会などの開催を通じ、市町村の策定が円滑に進められるよう働きかけを行っており、ワンチームとやま会議においても提示している。

障害者本人が参加する訓練については、毎年市町村と共同で実施している県の総合防災訓練において、要配慮者、避難行動要支援者の方にも参加いただき、避難訓練や福祉避難所の設営訓練等を実施している。また、市町村においても、障害者等の要配慮者、避難行動要支援者の方が参加する防災訓練を行っている。

2. 高齢者や弱視者が社会参加する場合、バス利用が欠かせません。特に弱視者は、バス利用で時刻表の文字が小さく読めなくて大変困っています。

JRでは、文字を大きくしていただいています。バスの文字を拡大していただくよう業者に指導していただきたい。

回答：県では、交通事業者等が利便性向上のために実施する、バス停の表示、上屋、接近表示機等の整備費に対して支援を行っている。こうした交通事業者に対する支援・指導を通じ、利用者の皆様の声に耳を傾けながら、使いやすく、わかりやすい地域公共交通を県としても推進している。

「とやまロケーションシステム」というサイトでは、バスの出発時刻や現在地などを検索することができ、文字の拡大ができて便利である。是非ご利用いただきたい。

3. 運転免許証更新時において75歳以上の高齢者は認知症検査と高齢者講習を受けた後、運転免許証を更新するため富山運転免許センターや高岡運転免許センターに行くよう指示されるが、高齢者かつ障害者の場合富山運転免許センターに行くよう指示される。  
障害者の免許証更新は、富山運転免許センターでなければならない理由がわからない。これまでの視力検査等だけならば高岡運転免許センターでも十分に行えると思う。

回答：身体障害等の理由により免許の条件がある方は、運転免許証の更新の際に、その条件を変更する必要があるかどうか確認をする必要がある。

確認をする際は、口頭による質問及び四肢の運動等を行っていただくほか、場合によっては身体障害の状態や程度、運転しようとする自動車等に応じた測定機器を使用する検査、実際に自動車等を操作する検査を行うこともある。このため、身体障害等の理由により免許の条件がある方は、各種測定機器、試験車両、試験コースが整備されている運転教育センターにおいて運転免許証の更新を行うこととしている。

4. 現在、富山県の障害者医療費助成制度は、平成19年8月に見直しされたもので既に15年経過しており、その間、中山間地などでは核家族化などによる人口減少で金融機関の統合や移転が進んでいます。  
65歳以上の重中度障害者にとっては、申請や銀行引出しに大変利便性が悪くなってきているのが現状であり、現物給付になっていない市町村については、自動償還払い又は償還払い方式から現物給付方式に見直ししていただきたい。

回答：現在、65歳以上の重中度障害者に対する医療費助成は、富山市が現物給付方式、南砺市が自動償還払い方式、残る13市町村は償還払い方式となっている。償還払い制度から脱却後の支給方法については、昨年ワンチームとやま会議において、「富山市と南砺市を除く13市町村は、『現物給付』又は『自動償還払い』への移行に向けて検討する」とされた。現在、実務担当者による情報共有や課題の整理が行われており、これを踏まえ、各市町村において具体的な検討が進められている。移行にあたってはシステム改修等の予算措置や条例等の改正が必要となるため、まずは各市町村において方針を決定いただいたうえで、県としては、移行に向けた支援を行いたい。

## 古川 義昭氏 富山県知事表彰（部門功労）受賞



令和4年度社会福祉事業等関係者として、長年に亘り障害者福祉向上のためご尽力されていることに対して、富山県身体障害者福祉協会の理事である古川義昭氏（立山町）が、令和4年10月24日富山県民会館で開催された表彰式で富山県知事表彰（部門功労）を受賞されました。おめでとうございます。

## 富山県身体障害者福祉協会 令和4年度7月以降コロナ感染防止に配慮して実施した事業

### ガラス作品制作体験教室

7月7日(木) 東部地区(29名)、8日(金) 西部地区(18名)を対象に青年部事業の一環として富山ガラス工房において、ガラスのコップ制作を体験してきました。



コップ作りは初めてで、それぞれ思い思いの作品づくりを体験してきました。

### カローリング競技練習会

9月22日(木) 富山県総合体育センターにおいて、富山県カローリング協会の指導を受けて練習会を開催しました。



コロナ禍で2年間中止となり、勸を取り戻すため練習会としましたが参加の皆さんからは是非大会を開いてほしいとのご意見がありましたので、来年は本格的に大会を開催したいと思います。

### 第49回ボウリング大会

10月1日(土) 参加者44名参加し第49回ボウリング大会を開催しました。



今回は、コロナ感染防止のため表彰式を中止し、後日賞品をお届けしました。

※成績(敬称略)

	○上肢の部	○下肢の部
1位(県知事賞)	山田 陸海	沖田喜次郎
2位(県議会議長賞)	山下 鉄彦	池端 敏博
3位(北日本新聞社賞)	中西 善吾	宗田 徹也
BB賞(ナムコ賞)	佐脇 清一	村上 隆
	○体幹の部	○オープンの部
1位(県知事賞)	大屋 昭一	布尾 英二
2位(県議会議長賞)	山田 賢	大野 順子
3位(北日本新聞社賞)	高地 弘	新村 時正
BB賞(ナムコ賞)	大田 晋也	牧田 徹

(オープンの部にはトロフィー等副賞はありません。)

### 女性会員テーブルマナー教室

10月6日(木) ラ・シャンス(富山県立美術館前)において、昨年・一昨年は、コロナで中止となったため、3年振りのマナー教室を開催し女性会員31名参加して、久しぶりにおいしいフランス料理を口にしながら、ナプキンの使い方などのテーブルマナーについて、分からないことをスタッフの方に教えていただきました。



### 女性会員料理教室

10月26日(水) 富山市の源 ますのすしミュージアムにおいて、午前の部12名・午後の部12名に分かれて、ますのすしづくりに挑戦してきました。



### 第2回リハビリ教室

11月8日(火)～10日(木)2泊3日で氷見市「ひみのな」において、第2回リハビリ教室を開催しました。



初日は、温泉療養を主とし2日目午前中は高岡「能作見学と錫の豆皿づくり」昼食後高岡美術館で開催中の「バンクシーって誰?展」を観賞してきました。

### 女性会員フラワーアレンジメント教室

12月27日(火)、サンシップとやまにおいて、今年最後の事業として総勢34名参加し正月用の花飾りとしてフラワーアレンジメント教室を催し、オアシスに松・おたふく南天・ピンポンマム・スプレーマムなどを生け、講師より今年も皆さん「才能あり」との評価を受けました。



## 富山県障害者社会参加推進センター 令和4年度7月以降コロナ感染防止に配慮して実施した事業

### 障害者相談員活動強化研修会

7月13日(水)～14日(木)一泊二日にて、呉羽ハイツにおいて、身体・知的・精神の障害者相談員の研修会が開催されました。

初日の午後から、「障害者相談員のための活動ハンドブック」について、監修者の竹内正直講師の講演と二日目は、「富山県における障害者雇用の現状と課題」について、富山労働局の講演がありました。



### ワークショップ障害者陶芸教室

令和4年度の陶芸教室は、県西部地区は26名参加で7月21日(木)また県東部地区は19名参加で7月8日(木)にいずれも射水市匠の里で開催されました。

今回、支援学校の児童・生徒も参加し慣れない作業に真剣に取り組んでおられました。

今回も作成した作品については、地域障害者作品展に展示され、多くの皆さんに鑑賞していただきました。



### ワークショップほんわかアート教室

従来、写真教室を実施していましたが、諸般の事情により令和4年度は、臨床美術の一つとして、ほんわかアート教室を、県西部地区は8月5日(金)高岡市ふれあい福祉センターでまた県東部地区は8月9日(木)サンシップとやまで開催されました。

この教室は、黒い台紙に動物や木の実など白黒印刷し切り抜いたものを台紙に張り付け、思い思いのところに白ペイントで線や点を塗って完成となります。



### 富山県障害者絵画展開催

令和4年度の障害者絵画展は、9月30日(金)～10月2日(日)イオンモール高岡において開催されました。

今回は、身体・知的・精神障害者の方から68点の作品が展示され、多くの皆さんに鑑賞していただきました。



### 地域障害者作品展

令和4年度の地域障害者作品展が以下の日程で県内4圏域で開催し、市町村協会や福祉施設からの作品が展示され多くの皆さんに鑑賞していただき障害者への理解を深めていただきました。

今回、開催地担当となった障害者協会の皆様には改めて御礼申し上げます。

- 9月13日(火)～15日(木) 射水市役所
- 10月8日(土)～10日(月)

黒部メルシー

- 10月14日(金)～16日(日)
- 富山市婦中ふれあい館

- 10月21日(金)～23日(日)
- 井波ショッピングセンター アスモ



### 障害者週間事前街頭キャンペーン実施

全国障害者週間は、12月3日～9日までと定められており富山県においては、関係団体の協力を得て毎年富山駅で街頭キャンペーンを行っています。

今年度は、12月2日(金)午前8時から富山駅を利用する通勤・通学者に対して、障害者週間のポスター(最優秀賞1点・優秀賞2点)の図柄の入ったポケットティッシュや施設で作った小物など配布し、障害者への理解推進活動を行いました。



広告ありがとうございました。



**“歩く”**  
歩きやすさを追求した 靴・インソール

**快適に!**

**“聴く”**

聞こえの世界が広がる 補聴器



快適に歩く・聴くをサポートします!

**(株) 富山県義肢製作所**  
**富山県補聴器センター**

〒930-0042 富山市泉町1-2-16  
TEL 076-425-4279 FAX 076-425-4587  
E-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp  
URL <https://www.tpo-morita.com>



共生社会の実現と地域貢献



**社会福祉法人 秀愛会**

地域と共にこれまでも これからも

障害児入所・療養介護 あゆみの郷 多機能事業所 あゆみの郷  
 ケアハウス そよかぜの郷 高齢者支援施設 せせらぎの郷  
 多機能事業所 ステップ 就労支援事業所 ハーベスト  
 大沢野ちゅうおうこども園

法人本部  
 富山市稲代 1023番地  
 電話 (076)467-4477

**LPガス・灯油・重油**  
**ガス冷暖房・燃料電池(エネファーム)**

常に考えています。安全とサービス

**(株) 清水住設**

本社 氷見市阿尾30  
 ☎(0766) 74-0209 FAX (0766) 74-2769  
<http://www.shimizu-jusetsu.co.jp/>

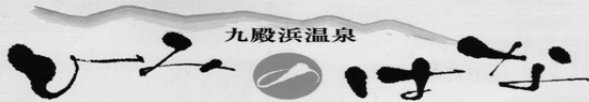
リサイクルで豊かな環境づくり!



株式会社 **ひみのはな**

婦中本店 〒939-2748 富山市婦中町田屋381-1  
 TEL 076-465-5688  
 FAX 076-465-3588

水橋支店 〒939-3542 富山市水橋開発277-8  
 TEL 076-479-2585  
 FAX 076-479-2586



九殿浜温泉

〒935-0411 氷見市姿400  
 ☎0766-79-1324 ☎0766-79-1325

<http://www.himinohana.jp/> ひみのほな



〒939-2224

富山県富山市春日96-1

**TEL (076)467-5000**

**FAX (076)467-5777**

